

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書5章12節～16節＞

① 重い苦しみを負うことが、イエス様を深く理解することに導いた！

「重い皮膚病」(12)に罹った人は、当時、隔離されており、出て来て人々と接触することを禁止されていました(レビ記 13:45-46)。それを知ると、この人の社会から隔絶された苦悩と、法を破ってでも清めてもらおうとした彼のイエス様の理解の深さを思わずにはおれません。

② イエス様を本当に信じるとは？ 全てを主に任せられること！

「主よ、御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」(12)。妙に聞こえるかもしれませんが、そうではありません。彼自身はイエス様が清くできるお方であると確信しているが、清めて下さるかどうかはただイエス様がそうしようと思われるかどうかにかかっている、それでいい、と思っているのです。深いイエス理解です！ イエス様もそう思われたから直ちに癒されたのでしょう。

③ 汚れた者に触り、言葉によって清めることができるお方とは何者？

イエス様にも注目です。イエス様は人々から汚れていると疎まれていた彼に「触れ」られ、「清くなれ」と言葉をかけて清められました(13)。言葉によって世界を造られた旧約聖書の神様(創世記一章)がイエス様によって罪に満ちた私たちの中に来て下さった！ 人知を超えた愛に満ちた神様と出会える出来事がここに起こっているのです！！

④ イエス様、神様について全て分かることはできない。それでいい！

イエス様はなぜ癒された人に、「だれにも話してはいけない」(14)と厳しく命じられたのでしょうか？ 福音書記者ルカは、イエス様のうわさを聞いて集まって来た人々はただ病気を癒してもらいたいと思っていただけでなく、教えも聞きたいと思っていたと説明しています(15)。そうなら、この機会を逃さず、集まった人々に神の国の福音を説き聞かされたらよかったのではないのでしょうか？ しかし、イエス様は集まって来た人々を避けて「人里離れた所に退いて祈っておられた」(16)のです。祈ることの大切さは分かるけれども、なにかすっきりしない？ いいえ、それでいいのです。私たちが神様の思いを全て分かるはずありません。しかし、私たちには分からない時にも神様は私たちに最善の道を備えて下さっているのです(I コリント 10:13)。それで十分なのです!!